

# 事故もないのになぜ 保険料アップ？



自動車保険を更新するにあたり、よく耳にすることですが、「事故をおこしてもいないのになぜ保険料がアップするの？」と疑問に思う方が多いのではないのでしょうか。

事故で1回保険金を請求した場合は、通常3等級等級が下がり、3年間高い保険料を支払うこととなります。それでは事故もないのに、保険料が前年より高くなる主なケースを紹介します。

◆記名被保険者（主たる運転者）年齢別料率区分の変更…例えば69歳の方が70歳になると区分が「70歳～74歳」の区分となり保険料が上がります。

◆新車割引の変更…自家用普通乗用、自家用小型乗用、自家用軽四輪乗用には「新車割引」があり、初年度登録から最長5年間割引が適用されます。

つまり初年度登録から5年を経過した車には割引の適用がなくなり保険料が上がります。

◆料率クラスの変更…保険会社は車の車種ごとに料率クラスを決めており、半年ごとに見直しをしています。本人の事故とは関係なく契約車両の事故率が上がり、料率クラスが上がると保険料が上がります。

詳細は保険会社、代理店にご確認ください。



## 勝手に選んだ 初夏に行きた観 光地ランキング

- 富良野**  
やっぱり北の国から
- 尾瀬ヶ原**  
水芭蕉の花
- 軽井沢**  
静かな頃の避暑地
- 高千穂峡**  
パワースポット

発行年月日  
2024年5月1日  
編集長代行  
本部 曾宮

編集長より  
ひとこと

育休中。  
復帰まで  
お待ちく  
ださい。

## MOTHERS' DAY

日本に伝わる母の日の風習はアメリカが発祥とのことです。1905年アンナという女性が母の死をきっかけに「母への感謝の日」を作る活動をおこない1914年活動が実を結び、当時の大統領が5月の第2日曜日を「母の日」と制定しています。アンナは母の好きだった白いカーネーションを追悼式で捧げ、活動の象徴としました。そのことから亡くなった母親には白いカーネーション（花言葉は尊敬、あなたへの愛は生きている）、健在なら赤いカーネーション（花言葉は母への愛、純粋な愛）を贈るようになりました。今ではそういった区別はなく赤やピンクの花を贈るのが一般的となりました。世界各地で行われている母の日は、日付もまちまちとのことです。日本でも明治の末期頃に伝わったのですが、当時は3月6日でした。また贈る花も世界各国異なるとのことです。



### お問い合わせ先

株式会社マエダ  
保険課  
〒580-0017  
大阪府松原市柴垣2-975-1  
Tel 072-330-0400  
FAX:072-330-0401  
営業時間 9:00～19:30  
定休日:火曜日

5月のお知らせ  
GWの後 体調管理にはご注意ください  
特に五月病には。